

令和 8（2026）年 3 月 1 8 日

令和 7（2025）年度介護・福祉施設経営セミナーについて

1 開催目的

介護や福祉サービスの担い手不足の問題、複雑化・多様化するニーズへの対応など、介護・福祉を取り巻く環境や社会情勢の変化に対し、中長期的な視点に立った戦略的な施設運営が求められている。日々の運営を担う施設長を対象にセミナーを開催することで、マネジメント力を高め、自らの施設の方向性を主体的に描けるよう、経営意識の醸成と意識改革を促す機会とする。

2 事業概要

- (1) 開催日時 令和 8（2026）年 1 月 2 2 日（木） 午後 2 時～午後 5 時
1 月 2 3 日（金） 午前 1 0 時～午後 1 2 時 3 0 分
- (2) 対象者 市内介護・福祉サービス事業所の施設長または管理職級職員
- (3) 会場 かしわざき市民活動センターまちから
- (4) 運営 柏崎市福祉保健部 福祉課、介護高齢課

3 実施内容

- (1) 講師 ポスト・ヒューマン・ジャパン株式会社 代表取締役 谷本 正徳 氏
- (2) 内容
 - ① 1 月 2 2 日（木）
講義 今後 1 0 年先を見据えた施設の在り方
～生成 AI で法人経営はどう変わる?!～
 - ② 1 月 2 3 日（金）
グループワーク「生成 AI 導入案の検討」
講評・質疑応答

4 参加者数

2 6 事業所 4 0 名（介護 1 2 事業所 1 7 名 障害福祉 1 4 事業所 2 3 名）

5 講義概要

現在、介護・福祉業界は慢性的な人手不足や職員の高齢化、そして膨大な事務作業による負担といった大きな課題に直面している。これらを解決し、持続可能で安定した経営を行うための強力なパートナーとして、生成 AI への期待が非常に高まっている。特に、「経営支援」や「運営支援」といった施設マネジメントの視点でも、生成 AI の活用は非常に強力な武器にもなりえるツールとして注目を集めている。

講義では、このような視点から、介護・障がい福祉施設の安定的な経営に向けて、生成 AI の活用は今後「必要不可欠」になっていくこと、そして、なぜ生成 AI 活用が必要なのか、具体

的なメリットや実際の活用事例を交えて話をいただいた。

参加者からは、現場レベルでは、「人がやらなくてもよい業務（介護記録の自動化、計画作成支援など）」を煩雑な事務作業をAIがサポートすることで、職員が「人にしかできないケア」に専念できる環境を作ることができることへの期待や、また、経営層が生成AIを活用することで経営課題の解決や生産性向上、経営戦略など、相談役として支援が得られるなど、前向きな意見がある一方、職員のIT技術向上や情報管理など、リスク対策などへの不安も挙げられた。

6 課題と今後の展望

講師は、生成AIは一過性のトレンドやブームではなく、これからの時代にAIやICTを活用できない施設は、経営的に非常に厳しい状況に追い込まれる可能性が高いと推察している。

「5年後、10年後も安定してサービスを提供し続けるための投資」として、経営層や管理者が日常的に使いこなすことが、経営改善の近道の一つであるとの強いメッセージは、今後の施設運営に向けての意識変革のきっかけとなったことが伺えた。

本セミナーを気づき、きっかけづくりの機会と捉え、中長期的な視点に立ち、将来を見据えた施設運営が図られるよう支援に努め、行政と介護・福祉サービス事業者が共通の認識を持ち、サービスの継続・存続に向けて連携して取り組むための基盤づくりとして、次年度も継続して取り組んでいきたい。

7 当日の様子

